

愛知県長久手市の小学校で「リモート工場見学」を実施 ～新たな生活様式に対応した、学習機会をご提案～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）は、2021年10月から2022年1月にかけて愛知県長久手市内の小学校3年生を対象に4校、約590人の児童に「リモート工場見学」を実施しました。

日東工業は、毎年、長久手市の小学校4校に工場見学を実施しています。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために工場見学を中止とし、工場見学に使用する資料の配付を行いました。今年度は新たな方法として、工場と小学校をつないだ「リモート形式」で実施しました。

「リモート工場見学」は、Web会議システムを通じて双方向でのコミュニケーションを図るため2～3クラスずつ実施しました。プログラムは1時間で、電気を安全に使うために必要なブレーカや分電盤の役割、働く人の工夫などを動画やスライドなどでわかりやすく説明。スケルトン仕様で中が見えるブレーカを1人1台配付し、入り・切りを体験、ブレーカの切れる仕組みを勉強します。クイズコーナーでは通っている学校、授業を受けている教室の中にも日東工業の製品があり、児童の学習を守っていることを伝えました。

今回、「リモート工場見学」に参加した児童に、多くの人に伝える仕事に協力して欲しいとお願いし、「日東工業の紹介チラシ」を作成してもらいました。（次頁参照）

日東工業はこれからも子どもたちの教育支援を行い笑顔創出に貢献し、地域の皆さまに寄り添える企業を目指していきます。



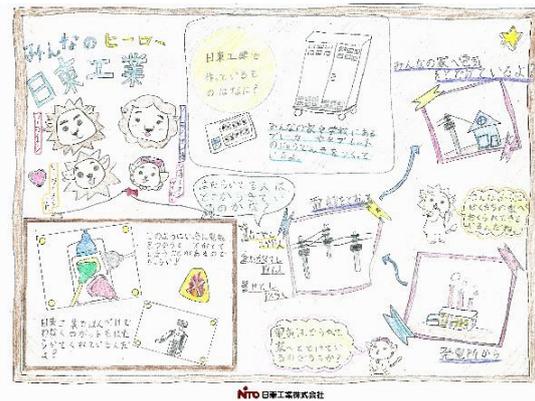
小学校でのリモート工場見学風景



日東工業の紹介チラシ作成風景

【子どもたちが書いてくれた日東工業の紹介チラシ（一部）】

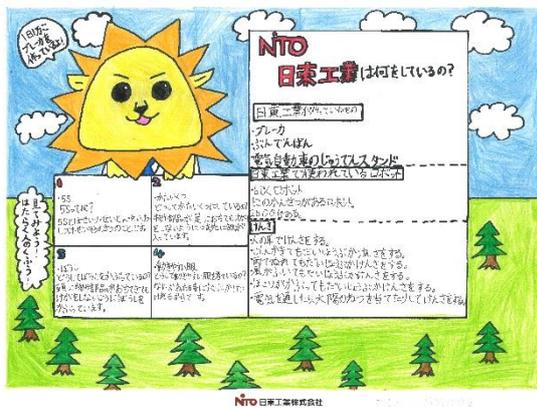
長久手北小学校：2021年10月26日実施



長久手南小学校：2021年10月29日実施



長久手西小学校：2021年11月2日実施



長久手市が洞小学校：2022年1月18日実施

